

平成22年度  
当初予算の概要

平成22年2月17日

教 育 委 員 会

## 平成22年度教育委員会当初予算の概要について

### I 基本方針

教育委員会では、「知性に富み、心豊かで、たくましい、活力に満ちたひとづくり」を基本目標として、その実現に向け、各施策を展開しております。

平成22年度当初予算では、「学校教育の本質」に関わる予算として、まず、子どもたちの個性や能力の伸長、新学習指導要領への対応、深めよう絆県民運動など、「学力の向上」や「豊かな心の育成」に必要な予算について、最優先に確保しました。

併せて、教育環境の整備では、子どもたちが一日の大半を過ごす学校に関して、老朽化した県立学校の改築や耐震改修を計画的に進める予算についても、所要額を計上しております。

また、「トキめき新潟国体」後の継続的な競技力向上対策や、世界文化遺産の国内候補となった佐渡金銀山遺跡の本登録に向けた準備など、県の重要施策の推進についても所要額を計上いたしました。

### II 主要事業

#### 「個を伸ばし、夢を叶える若者育成費」

- ・ 夢に向かいチャレンジする若者を育成するため、実践的な技術・技能の習得やキャリア教育の推進、志望する大学等への進学に向けた学力向上など、生徒一人一人の個性や能力を伸ばし、進路実現を支援します。

(5 ページ参照)

#### 「新学習指導要領の先行実施に対する支援」

- ・ 新学習指導要領の先行実施に伴い、小学校の授業時間の増加に対応した非常勤講師を配置し、学習指導要領の理念である子どもたちの「生きる力」をはぐくみます。(6 ページ参照)

#### 「進路変更対策緊急奨学金」

- ・ 新卒予定者の厳しい就職環境に鑑み、やむを得ず就職から進路変更し進学した学生に対し、特別枠の奨学金を貸与し、修学を支援します。

(6 ページ参照)

#### 「深めよう絆県民運動推進費」

- ・ 3年間のいじめ根絶県民会議の組織と運動の成果等を生かしつつ、児童生徒間の「絆」を深め、社会性を育成することにより、いじめ、不登校、暴力行為等の解消と未然防止を図る取組を社会全体で推進します。

(6 ページ参照)

#### 「学校支援地域本部推進費」

- ・ 学校、家庭、地域の連携を強化し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを進めるため、市町村における学校支援地域本部の設置を推進します。(6 ページ参照)

#### 「競技水準向上対策費」

- ・ 男女総合優勝に結実した「トキめき新潟国体」への取組と成果を一過性のもものとしなないため、引き続き競技水準の向上と本県スポーツの振興を図ります。(7 ページ参照)

#### 「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）開催準備費」

- ・ 平成 24 年に本県を中心とした北信越 5 県で開催されるインターハイに向けた準備を進めます。(7 ページ参照)

#### 「佐渡金銀山世界遺産登録推進費」

- ・ 佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録に向け、佐渡市が行う文化財の調査研究を支援するとともに、国内外への情報発信や県民意識の高揚を図ります。(7 ページ参照)

### III その他の事業等

#### 1 子どもたちの生きる力をはぐくむ教育の推進

##### 【子どもたちや社会の未来を拓く教育の充実】

- ・ 多様な教育活動の展開や児童生徒の社会性を育成するための望ましい教育環境の整備に向けた小・中学校の取組を支援します。(8 ページ参照)

##### 【豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の充実】

- ・ 深めよう絆県民運動と併せて、スクールカウンセラーなど学校や地域における相談指導體制の充実を図り、いじめ、不登校等の未然防止と解決に取り組めます。

また、地域の教育力を生かし、子どもたちの放課後等の多様な活動の場づくりに取り組む市町村への支援を拡充します。(11 ページ参照)

##### 【子どもたちの学びを支える学校教育環境の整備】

- ・ 県立学校の改修、耐震補強及び全面改築を計画的に進め、教育環境の維持向上を図ります。(12 ページ参照)

#### 2 生涯にわたる「学び」「躍動」「感動」を支える基盤整備

##### 【生き生きと学び続ける生涯学習環境づくり】

- ・ 暮らしや仕事に役立つセミナーの開催など、県民の多様な学習ニーズに応える図書館づくりを進めます。(13 ページ参照)

##### 【心に潤いをもたらす芸術文化の振興と地域文化の継承】

- ・ モーリス・ユトリロ展(近代美術館)、ピアトリクス・ポター展(万代島美術館)等を開催するなど、質の高い芸術鑑賞機会を提供します。(14 ページ参照)

#### 3 震災への着実な対応と災害に強い学校づくり

- ・ 中越大震災、中越沖地震で被災した児童生徒の心のケア等を支援するため、引き続き、教育復興加配教員を配置するとともに、学校の耐震化を進め、災害に強い学校づくりに努めます。(14 ページ参照)